

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援スマイル本店				公表日	2025年 2月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	1日の利用人数を定員数に準じて調整を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	人員配置を満たして職員配置を行っている。	さらに配置人数を増やした方が療育の質や安全が確保されやすいと思われる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	職員間で連絡ツールを取り入れている。	共有をゆっくり見る時間が必要。情報まとめ作業や確認作業に時間を要する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	活動の内容に応じて部屋ごとの人数を決めている。掃除を定期的に行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	机上活動、自由遊びの部屋、個別の部屋など必要に応じて活動する環境が出来ている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	朝礼や終礼等で目標設定や振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者アンケートの実施等により、意向等の把握に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員面談を定期的に行うことで、業務内容の改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	外部の第3社評価期間は行ってないが、全社的な会議で業務改善に繋げている。	全社的な会議の情報共有を事業所職員に共有する体制を整えていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内での研修機会や、外部研修の紹介、それに伴う受講機会を提供している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	事業所の療育理念に従ってプログラムの作成公表を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者の方のニーズ、児童さんの様子を総合的に見ながら支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	契約時に担当者会議を開いて、子どもの支援方向性を全職員で検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員間で支援計画の内容を共有し、検討する機会を設けている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	法人内で定めたアセスメントシートを基に確認を行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	支援計画内に本人支援、家族支援、移行支援、地域支援等の項目を設けて適切に設定をしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	全職員間でプログラムの立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	児童さんの興味関心やその日の状況を踏まえながら活動プログラムを工夫している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別活動の項目、集団活動の項目を合わせて支援計画を定めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼や終礼等で支援の内容について確認する機会を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	朝礼や終礼等で支援の内容について確認する機会を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々連絡帳を始めとした記録を取ることで、支援の改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6ヶ月に1回以上モニタリングの案内を行い、目標の達成度合いと今後の目標の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者を筆頭に、その児童の様子を知るものが会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	相談支援事業所、他事業所、保育園や幼稚園と連携して支援を行っている。	一部の園や医療機関との連携が未達成な部分があるので、積極的に連携を行っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保育園等との話し合いの場を設けて、情報共有に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	今後移行するにあたって、日々の記録の見返しは勿論、情報共有が円滑に出来るよう情報整理に努めている。	今年度、就学移行の児童はいないが、来年度に備えて移行準備を整えていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	83%	17%	連携できるようコミュニケーションを図っている。	スーパーバイズ、助言等を受ける機会を得られるよう、連携を密にしている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17%	83%	法人内での事業所児童と関わる機会がある。	現在、事業所外との児童との活動機会があまり得られていないので、活動機会を事業所側から発信していくよう努める。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡帳などのツールを用いて、発達状況の共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	保護者会の開催や、相談に応じて情報提供を行っている。	保護者会や家族支援プログラムの開催機会が少ないため、定期的に開催を行っていく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に、契約書等を細やかに説明するよう意識している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援計画を作成し、職員間で共有を行った後に保護者の方に確認を取る機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援計画を提示して、同意を得てから成案を発行している。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	対面や電話などのツールを用いた助言指導を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	保護者会を開催する機会を設けている。	開催頻度が少ないため、計画的に開催する機会を設けていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	管理者に相談や申し入れを通すように対応を整備し、迅速かつ適切に対応を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HPのブログやSNSなどを通して、日々の活動について発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報使用同意書を丁寧に説明したうえで第三者に漏洩しない様留意をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	可能な範囲内で意思疎通の配慮を実践している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	地域に法人（事業所）の紹介を行っている。	今後地域に開かれた行事を行うなど対応策を考えていく。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	マニュアルを職員に周知している。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	17%	計画を策定し、職員が常に確認できるように周知と共有をしている。	訓練頻度や計画の見直しなど、今後も定期的に行い、回数を増やしていく。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	病歴や服薬の有無などを事前に面談で確認し、共有をしている。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	アレルギーの有無や度合いを面談で確認し対応を行っている。	医師の指示書について共有があまりないので面談時の聞き取りに留意する。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	計画を作成し、職員間で共有をしている。	訓練頻度や計画の見直しなど、今後も定期的に行い、回数を増やしていく。
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%	計画に基づいて、連絡シートなどで非常時も連携を取れるように取り組んでいる。	安全計画の取り組み内容を周知する機会を設けていく。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	67%	33%	朝礼や終礼等でヒヤリハットの内容を共有し再発防止策を考えている。	職員間でのヒヤリハットの意識を高めて、再発防止を強化していく。
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	17%	虐待の防止研修の参加や、虐待のサインを可視化して事業所に掲示している。	虐待に気づけるよう、研修機会の増大をして適切な対応を身に付けていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束等の要件を契約時に説明し、了解を得ることが出来ている。		